

就職について考える

参考：厚生労働省
(就職について考える)

● 自分自身のことを整理しておく



普段から、自分が将来どういう仕事に就きたいのかを念頭において、自分自身のことを分析しておきましょう。就職活動の直前になって、あわてて自己分析をするのではなく、今の段階から、将来を見据えて自己分析を繰り返しておくことで、自分のやりたい仕事、自分の希望する生き方が見えてきますし、そのために必要な能力を磨くために、どんなことをしたらよいのかも分かります。

また、実際に就職活動をする段階になったとき、自分のどのような点がセールスポイントになるか分かっていると、自信を持って面接に臨むことができます。

今から自己分析を始めることで、悔いのない就職を実現しましょう。



自己分析を行う時には、右記の「自己分析チェックポイント」に対する回答を自分でノートなどに書き出してみることも効果的です。

また、より効果的な自己分析を行うため、次の点に注意して、ノートなどに書いてみてください。

自己分析チェックポイント!

1 これまでの生活を振り返ってみる

- ◆興味があることや打ち込んだことは何か。
- ◆部活動や学校行事などの経験から何を学び、どう成長したか。
- ◆感動した、挫折したのはどんな時か。その時どう感じ、またそれをどう克服したか。

自己分析をしてみよう!

1 本音で書く

自分を飾らずに本音で書くことは、自分に合った仕事は何かを考える第一歩です。

2 友人や知人の意見も聞く

自分のことを知るためには、自分のことを客観的に見るだけでなく、他人の目から見た自分を知ることも重要です。

3 何回も繰り返し書いてみる

価値観や仕事に関する考え方は毎日変化していきます。繰り返し行うことで、自分自身の理解が進みます。

2 自分の能力・適性について考える

- ◆自分の性格の特長はどこにあるか。
- ◆自分のセールスポイントは何か。
- ◆家族や友人からはどう評価されることが多いか。
- ◆何か資格を持っているか。特技は何か。
- ◆どんなことにやりがいを感じるか。
- ◆どんな仕事に興味があるか、その理由は何か。
- ◆希望する仕事にはどのような能力が必要だと思うか。



3 キャリアプランを考える

- ◆人生設計の中で仕事をどう位置づけたいか。
- ◆5年後、10年後どのように仕事に携わってみたいか。
- ◆結婚、出産、育児などの家庭生活と仕事を、どう捉えていきたいか。

一瞬のやる気なら誰でも持てる。けれども、持続性のあるやる気は、深く認識したものだけに宿るのである。

—— 野村 克也 (元プロ野球選手・元監督〈ヤクルト・阪神・楽天〉) ——